平成23年度第1回 千葉県地域リハビリテーション協議会

東葛北部地域リハビリテーション

広域支援センターの活動状況

旭神経内科リハビリテーション病院

平成23年12月21日

東葛北部地域リハビリテーション 広域支援センター

東葛北部地区

松戸市・野田市・柏市・

流山市·我孫子市

人口:約135万人

高齢化率:20.4%

(平成23年4月1日現在)

急激に高齢化の進む地域



東葛北部地域リハビリテーション 広域支援センター

平成15年8月19日指定

旭神経内科リハビリテーション病院内

センター長・・・病院長

担当職員•••理学療法士2名•作業療法士2名 医療相談員2名•医療事務1名

旭神経内科リハビリテーション病院

所在地 : 松戸市栗ヶ沢

【回復期リハビリテーション病棟】

病床数: 48床

【一般病棟】

病床数: 39床

関連施設

栗ヶ沢通所リハビリテーション 介護老人保健施設栗ヶ沢デイホーム 金ケ作デイサービスセンター 松戸市小金原地区在宅介護支援センター 栗ヶ沢居宅介護支援センター 栗ヶ沢訪問看護ステーション 栗ヶ沢ホームヘルパーステーション





主な活動内容

1. 研修会・講演会の開催

2. 介護予防教室巡回指導 「松 戸 市 小 金 原 地 区 高齢者が安心して暮らせるまちづくり事業」

- 3. 高次脳機能障害に対する集団訓練
- 4. 東葛北部地域リハビリテーション連絡協議会の開催

1. 研修会・講演会の開催

施設向け

- 東葛北部地域の医療 福祉従事者を対象。
- ・リハビリテーションに 関する研修と講演。



基本的に1施設1名の参加→伝達の依頼

1. 研修会・講演会の開催

住民向け

- 民生委員など地域ボランティアの方を対象。
- リハビリテーションに関する基礎知識の講演。

リハビリを受けていれば…という方を1人でも少なくしていくための情報発信者育成

2. 介護予防教室巡回指導

「松戸市小金原地区高齢者が安心して暮らせるまちづくり事業」





- 毎週1回 120分
- 参加者 1グループ約6~8名 5グループ
- 主な内容 1週間の出来事を発表、間違い探し、詩吟、ゲーム、史跡巡り 等

3. 高次脳機能障害普及支援事業

集団訓練



- 週1回 120分
- 参加者 約6名
- 期間 約6カ月
- 主な内容 新聞記事の切り抜き発表 家庭用ゲーム機やボード ゲームを使った課題 調理訓練等

地域ネットワーク

4. 東葛北部地域リハビリテーション 連絡協議会の開催

目的

- •地域リハビリテーション関連諸機関の連携を図る
- ・支援センター広報活動



平成23年度活動報告

● 研修会(6回)

```
H23.5.20(金) 「リハビリテーションから見た介助方法(1)」
35名参加
```

H23.6.17(金) 「リハビリテーションから見た介助方法(2)」 38名参加

H23.8.19(金) 「生活リハビリ」

32名参加

H23.11.24(木) 高次脳機能障害(1) 高次脳機能障害について 130名参加

H23.12.15(木) 高次脳機能障害(2) 就労支援について 76名参加予定

H24.2.17(金) 嚥下障害 (予定)

平成23年度活動報告

● 地域住民対象 研修会

H23.10.17(月)

松戸市小金原地区介護予防教室「やさしいリハビリ 肩足腰編」 24名参加

H23.11.21(月)

松戸市小金原地区介護予防教室「やさしいリハビリ 肩足腰編」 30名参加

●松戸市小金原地区まちづくり巡回指導

H23年9月

グループ訪問指導 4グループ32名

(介護に関する相談、ゲーム、介護予防体操へのアドバイス等、 およびアンケート調査)

平成23年度活動報告

● <u>学会発表</u> H23年10月 リハビリテーション・ケア合同研究大会2011

> 「松戸市における介護予防教室の取り組み(第3報)」 —グループ形成時の工夫

> 「松戸市における介護予防教室の取り組み(第3報)」 ―自主グループへの移行時の工夫

● 東葛北部地域リハビリテーション連絡協議会 H23年3月開催予定 テーマ: 認知症リハビリ・BPSD連携パス

地域生活連携シートの活用

平成15年~平成23年度のまとめ

- ① 医療・介護従事者および地域住民へ の研修会・講演会開催
- ② 介護予防事業の実施
- ③ 高次脳機能障害者集団訓練
- ④ 地域住民対象の講演会の開催 地域の既存ボランティアとの関係構築

今後の課題

- ① 東葛北部地域のリハビリ関連諸機関との連携による維持期リハビリテーション活動。
- ② 高次脳機能障害支援の地域ネットワーク作り。
- ③ 介護予防、認知症予防リハビリ事業の展開

地域の関連機関との連携の拡充。